

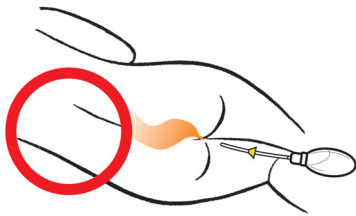
小児用につきましては、成人用と使い方が異なる部分がございます。製品箱に封入されている「保護者の方へ グリセリン浣腸「オオタ」小児用 30 の取扱方法」を併せてご参照ください。

グリセリン浣腸「オオタ」を安全にご使用いただくために

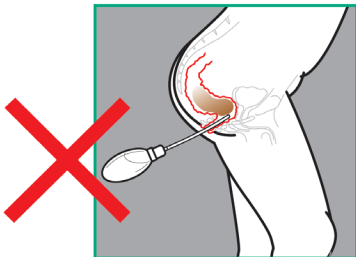
グリセリン浣腸は、腸の動きを活発にして、硬い便をやわらかく滑りやすくして排出する浣腸剤です。肛門からチューブを挿入して使用するため、直腸を傷つけないよう注意する必要があります。グリセリン浣腸「オオタ」を安全に使用していただくために、以下の注意点をご確認いただきますようお願いいたします。

使用時の注意点

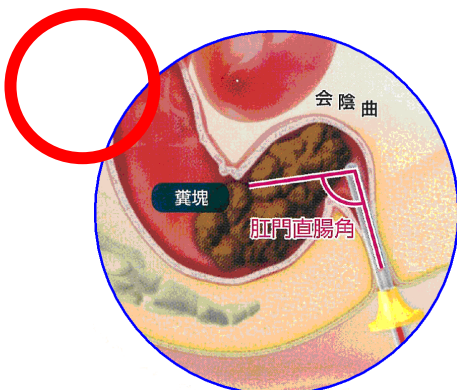
姿勢



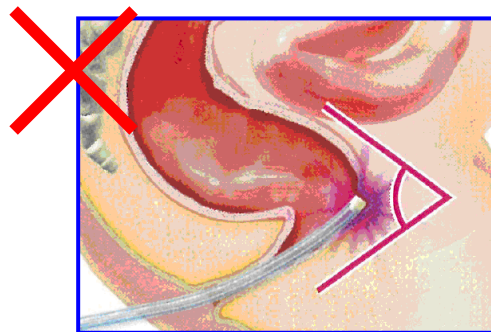
左側を下に横向きに寝て、ひざを軽くお腹の方に曲げ、^{そくがい}やや前屈の姿勢(左側臥位)をとります



立った状態での浣腸処置は危険ですので行わないでください



^{そくがい}左側臥位

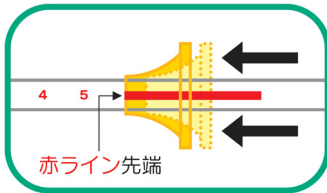


立った状態

^{そくがい}左側臥位では、チューブと直腸のカーブしている部分の角度がゆるやかになります。しかし立った状態では、お腹に圧力がかかることによってその角度が鋭角になり、チューブ挿入の際に直腸を傷つけてしまうおそれがあります。

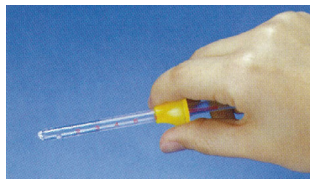
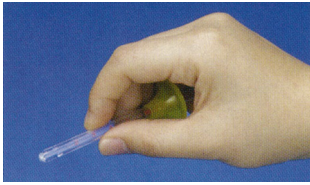
通常、グリセリンは腸粘膜から吸収されることはありませんが、腸の粘膜が傷ついてしまうと、傷口からグリセリン液が吸収され、溶血や腎障害などを起こすおそれがあります。

成人の場合、チューブ挿入の目安は **5~7cm** です

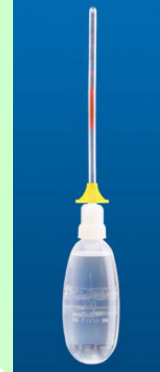


- 深く挿入しすぎるとチューブの先端が直腸のカーブしている部分にぶつかり、直腸粘膜を傷つけたり、穿孔につながるおそれがあるため危険です。
- ストッパーを赤ラインの先端に合わせてご使用ください。
(チューブ先端から6cmで、安全な挿入の目安です。)

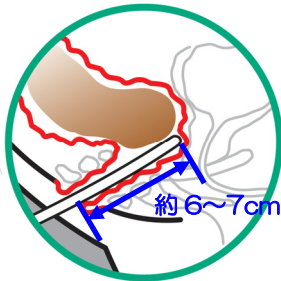
挿入



- 初めにチューブの先端を持って1~2cm挿入し、その後ストッパーを持ちながら、ゆっくり挿入してください。
- 挿入途中で抵抗を感じたり不快感が生じた場合は、ただちに中止して下さい。



やむを得ずストッパーをご使用にならない場合は、先端の潤滑剤が擦り取れるのを防ぐため、ストッパーを容器本体側へ引き下げて適切な長さで挿入してください。



肛門から約6~7cm挿入すると、直腸のカーブしている部分にぶつかります。そのため、**7cmを超えてのチューブの挿入は危険です。**
(設定したストッパー位置より深く挿入しないことが重要です)
また、挿入に際して抵抗が感じられる場合には便や痔などに衝突している可能性があります。無理に挿入したり、勢いをつけて挿入すると、直腸を傷つけたり穿孔をおこす危険があります。

注入

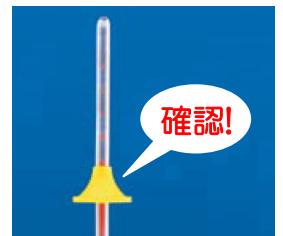
浣腸液は少しずつゆっくりと注入してください

- 挿入・注入中は大きく呼吸し、お腹の力を抜いてリラックスしてください。
- 挿入・注入中に抵抗を感じたり、不快感が生じた場合には、ただちに中止し、医師に相談してください。

抜管

チューブはストッパーを確認しながらゆっくり抜き取ってください

- チューブを抜き取る際、ストッパーが抜け落ちないように注意し、**ストッパーが肛門内または肛門部に取り残されていないか必ず確認**してください。



観察

チューブを抜き取った後、チューブとストッパーに血液の付着などが無いか確認してください

- チューブやストッパーに血液が付着している場合、直腸粘膜が傷ついている可能性があります。速やかに医師に相談してください。
- 排便に伴い血圧変動などで気分が悪くなる場合がありますので十分な観察が必要です。